



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 令和3年9月10日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課  
085-0805  
釧路市黒金町 7 丁目 5  
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyou/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

## くしろ「木づな」プロジェクト

### 商品企画研究会で開発した木製品「かおん」と「端木台（ぱきた）」が商品化

#### 【概要】

くしろ木づなプロジェクトでは、地元産木材の利用推進や、森林資源の循環利用の普及啓発を目的として、「商品企画研究会」で木製品開発に取り組んできました。このたび、開発製品の「かおん」と「端木台（ぱきた）」が市販されることとなりました。

■ 製造・販売 得地ファニチャ工業(株)

■ 連絡先 0154-40-2261

<http://www.dotoinfo.com/tokuchi/>

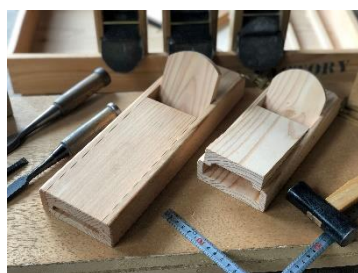
#### 【実施内容】

くしろ木づなプロジェクトでは令和2年度から「商品企画研究会」を設置し、様々な木製品の開発を進めています。今回商品化された木製品である「かおん」は、一見、木を削る鉋（かんな）のような形をしていますが、スマートフォンを置くことによって、メガホンのように音声指向性を持ち、音楽をより大きな音で聞けるようになるスピーカーです。電源を必要としないので、キャンプ等のアウトドアでの使用が可能です。カラマツ材で反響した柔らかい音を感じられます。

「端木台（ぱきた）」は、持ち運び可能な小型のテーブルです。天板はカラマツ板2枚を組み合わせ（トドマツ・広葉樹も可能）、それをメラミン化粧板やアクリル版、カラマツ化粧合板で作った脚の上にハメることで組み立てます。ソロキャンプではこういった小型テーブルがよく使われますが、多くはアルミ製です。自然の中のアウトドアでは使うものは木製が雰囲気にマッチします。

いずれも購入方法は直販のみとなっていますが、今後は販売チャネルを増やしていく予定です。

くしろ木づなプロジェクトでは、生活の中で地域材がもっと活用されていくように、今後もこのような取組を引き続き進めていきたいと考えています。



#### <釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、2005年(平成17年)の3市町合併により、森林面積は約10万ha(全道の市で1位)。まさに釧路市は「森林都市」。「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を2010年(平成22年)11月設置しました。これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

#### 釧路市産業振興部産業推進室

(担当) 田戸岡 尚樹

TEL : 0154-31-4550

FAX : 0154-22-8972